※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（第一学習社出版）						
副教材等	「語彙力をつける　入試漢字２６００」（筑摩書房） 「論理的に読む　論読　現代文１」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代の国語」の授業を通して、現代に生きるみなさんの課題を発見する力、それを解決するためにどうするのかを考える力を身に着けてください。
・自分自身や他者との関わり方、社会や自然との向き合い方を考え、多角的なものの見方ができるようになりましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。
・国語の特徴的な語句や表現技法を学び、自分の体験や思い、考えを効果的に伝えるための工夫ができるようになりましょう。
・文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉えて内容を解釈し、それを踏まえて自身のものの見方や感じ方、考え方を深めましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」,「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	自己と他者 ［教材］ 「本当の自分」幻想	ａ：主張と論拠、個別と一般化、推論など情報と情報との関係を理解する。 ｂ［話／聞］：目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討している。 ｃ：粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	比較文化 ［教材］ 水の東西	ａ：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ｂ［ 読 ］：東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ｃ：個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	文学 ［教材］ 羅生門	ａ：比喩などの修辞を理解し、主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ｂ［ 読 ］：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	言語 ［教材］ ものとことば	ａ：言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解し文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしている。 ｂ［ 書 ］：自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫し、言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	実用の文章１ ［教材］ 学校新聞の記事内容を検討する。	ａ：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。 ｂ［ 書 ］：読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確かめ、書き直す手順を学び、文章の構成や展開を工夫している。 ｃ：異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 パンフレット	ワークシート 振り返りシート
2	実用の文章2	ａ：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	ワークシート 定期考査	パンフレット ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

［教材］ 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	ｂ［　書　］：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ｃ：実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。	小テスト	定期考査	
科学・技術 ［教材］ 「文化」としての科学	ａ：文章の効果的な接続の仕方を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する ｂ［　書　］：筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解し、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ｃ：筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
文学 ［教材］ 砂に埋もれたル・コルビジェ	ａ：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ｂ［　読　］：父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
推論 ［教材］ AI は哲学できるか	ａ：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ｂ［　読　］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ｃ：帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
情報・メディア ［教材］ 現代の「世論操作」	ａ：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ｂ［　読　］：情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ｃ：個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
時間と近代 ［教材］ 不均等な時間	ａ：具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ｂ［　書　］：近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。			
	ものの見方 ［教材］ 「生きもの」として生きる	ａ：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ｂ［　読　］：筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ｃ：既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
3	社会・政治 ［教材］ フェアな戦争	ａ：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ｂ［　書　］：筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ｃ：筆者の考えを粘り強く読み解き、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	文学 城の崎にて	ａ：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ｂ［話／聞］：三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述する。 ｃ：作品に表れた死生観を積極的に読み取り、意見をまとめて話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間